

検定問題の一部見直しについて：1級電気工事施工管理 〔施工技術検定規則 別表第一より抜粋・加筆〕

※赤字：主要な変更点

検定区分	検定科目	検定基準	知識・能力の別	解答形式
第一次 検定	電 気 工学等	1 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な電気工学、電気通信工学、土木工学、機械工学及び建築学に関する一般的な知識を有すること。	知 識	四肢択一 (マークシート方式)
		2 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な発電設備、変電設備、送配電設備、構内電気設備等に関する一般的な知識を有すること。		
	施 工 管理法	3 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書に関する一般的な知識を有すること。	知 識	
		1 監理技術者補佐として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する知識を有すること。	能 力	
法 規	2 監理技術者補佐として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な応用能力を有すること。	知 識	四肢択一 (マークシート方式)	
		建築工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する一般的な知識を有すること。		

※1 第二次検定の所要実務経験年数を学歴に拘わらず一定とすることから、第一次検定において、電気工学の基礎的な知識を確認する設問を含める等、検定問題の充実を図る。

検定区分	検定科目	検定基準	知識・能力の別	解答形式
第二次 検定	施 工 管理法	1 監理技術者として、電気工事の施工管理を適確に行うために必要な知識を有すること。	知 識	五肢択一 (マークシート方式)
		2 監理技術者として、設計図書で要求される発電設備、変電設備、送配電設備、構内電気設備等（以下、「電気設備」という。）の性能を確保するために設計図書を正確に理解し、電気設備の施工図を適正に作成し、及び必要な機材の選定、配置等を適切に行うことができる応用能力を有すること。	能 力	記 述

※2 第二次検定において、受検者の経験に基づく解答を求める設問に関し、模範解答例の暗記等ではなく、自身の経験に基づかなければ解答できないような設問への見直しを行う。

【！】受検の公平性の観点から、試験問題に関する問い合わせはお受けできません。

検定問題の一部見直しについて：2級電気工事施工管理 〔施工技術検定規則 別表第二より抜粋・加筆〕

※赤字：主要な変更点

検定区分	検定科目	検定基準	知識・能力の別	解答形式
第一次 検定	電 気 工学等	1 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な電気工学、電気通信工学、土木工学、機械工学及び建築学に関する概略の知識を有すること。	知 識	四肢択一 (マークシート方式)
		2 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な電気設備に関する概略の知識を有すること。		
	施 工 管理法	3 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書を正確に読み取るための知識を有すること。	知 識	五肢択一 (マークシート方式)
		1 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する基礎的な知識を有すること。		
法 規	2 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な基礎的な能力を有すること。	知 識	四肢択一 (マークシート方式)	
		建設工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する概略の知識を有すること。		

※1 第二次検定の所要実務経験年数を学歴に拘わらず一定とすることから、第一次検定において、電気工学の基礎的な知識を確認する設問を含める等、検定問題の充実を図る。

検定区分	検定科目	検定基準	知識・能力の別	解答形式
第二次 検定	施 工 管理法	1 主任技術者として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識を有すること。	知 識	四肢択一 (マークシート方式)
		2 主任技術者として、設計図書で要求される電気設備の性能を確保するために設計図書を正確に理解し、電気設備の施工図を適正に作成し、及び必要な機材の選定、配置等を適切に行うことができる応用能力を有すること。	能 力	記 述

※2 第二次検定において、受検者の経験に基づく解答を求める設問に関し、模範解答例の暗記等ではなく、自身の経験に基づかなければ解答できないような設問への見直しを行う。

【！】受検の公平性の観点から、試験問題に関する問い合わせはお受けできません。